きほんのき

ゼロエミ勉強会

～愛するまちをゼロエミに～

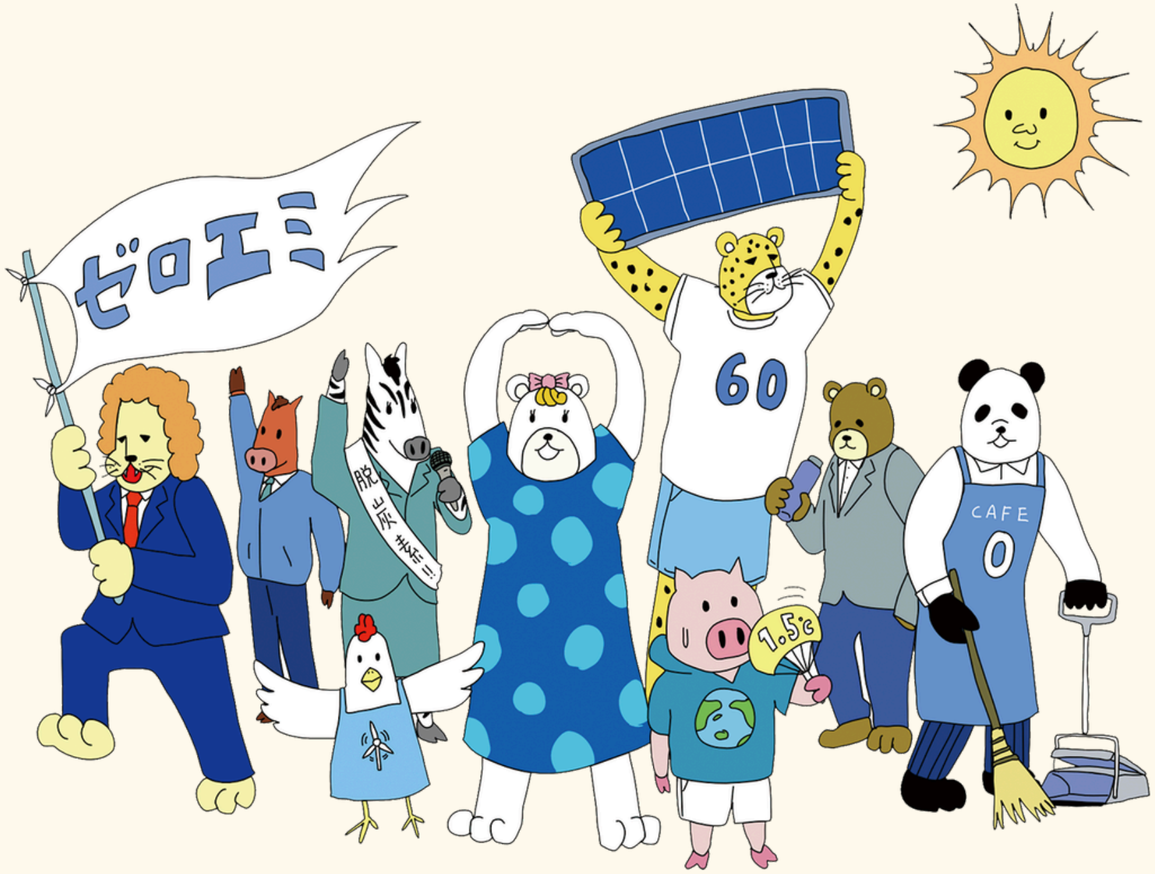
ゼロエミッションを実現する会

文：ゼロエミッションを実現する会事務局
イラスト：リック・ベッジオ

ゼロエミッションを実現する会

ゼロエミとはゼロエミッション
CO2排出を実質ゼロにすることです。

自分のまちから気候危機を止めたい。
「ゼロエミッションを実現する会」は
そんな思いの市民が
自治体のゼロエミをめざして
活動しています。



事務局：国際環境NGOグリーンピース・ジャパン
https://www.instagram.com/zeroemi2050/

ゼロエミッションを実現する会

目次

1. 自治体の「1年間」を知る

2. タイミングに合わせたコミュニケーション

3. まとめと次のステップ

自治体の市民参画のしくみ

rei

自治体のシゴトは市民サービスだから、市民の声がいちばんのエネルギーです。
どんどん**アイデアを出して自治体のシゴトをサポート**しよう！

たとえば

- アンケート・市政モニター
- 住民説明会
- 議会・審議会・委員会の傍聴
- 審議会などへの委員応募
- パブリックコメント（市民からの意見公募）
- 行政、市長への提案、陳情（要望）
- 議会への請願・陳情、議員への要望
- 直接請求権（条例制定/改廃、リコールなど）
- 選挙（投票、候補者応援、立候補）

*自治体によっては「住民投票」も

ゼロエミッションを実現する会

1. 自治体の1年間を知る

なぜ？　：行政のサイクルを知り、効果的なコミュニケーションを

- 計画のサイクル：**数年に一度の「改定期」を大切に**する
  - 温暖化対策計画などは、数年ごとに見直し
  - 総合計画、環境基本計画など上位の計画にも注目

- 予算のサイクル：**予算作成準備の時期に声を届ける**
  - 自治体の予算は、前年の秋から検討開始→夏から声を届ける

- プロセスの理解：**手順に沿って対話**を
  - 担当課の検討、専門家の会議、議会での話し合い…
  - 「いつ、誰に、何を」を意識しよう

自治体のスケジュール（例）今年の事業を進めつつ、翌年の予算を検討、計画改定、さらに議会も....

4-6月	人事異動・新規採用（引き継ぎ・研修）・新年度事業開始
7-9月	予算編成方針の決定、各所からの予算要望
10-12月	予算案の内容の精査（査定）
1-2月	翌年度予算発表、翌年度組織改正の発表
3月	人事異動内示

議会

議会

議会

議会

4月：人事異動・新規採用（引き継ぎ・研修）

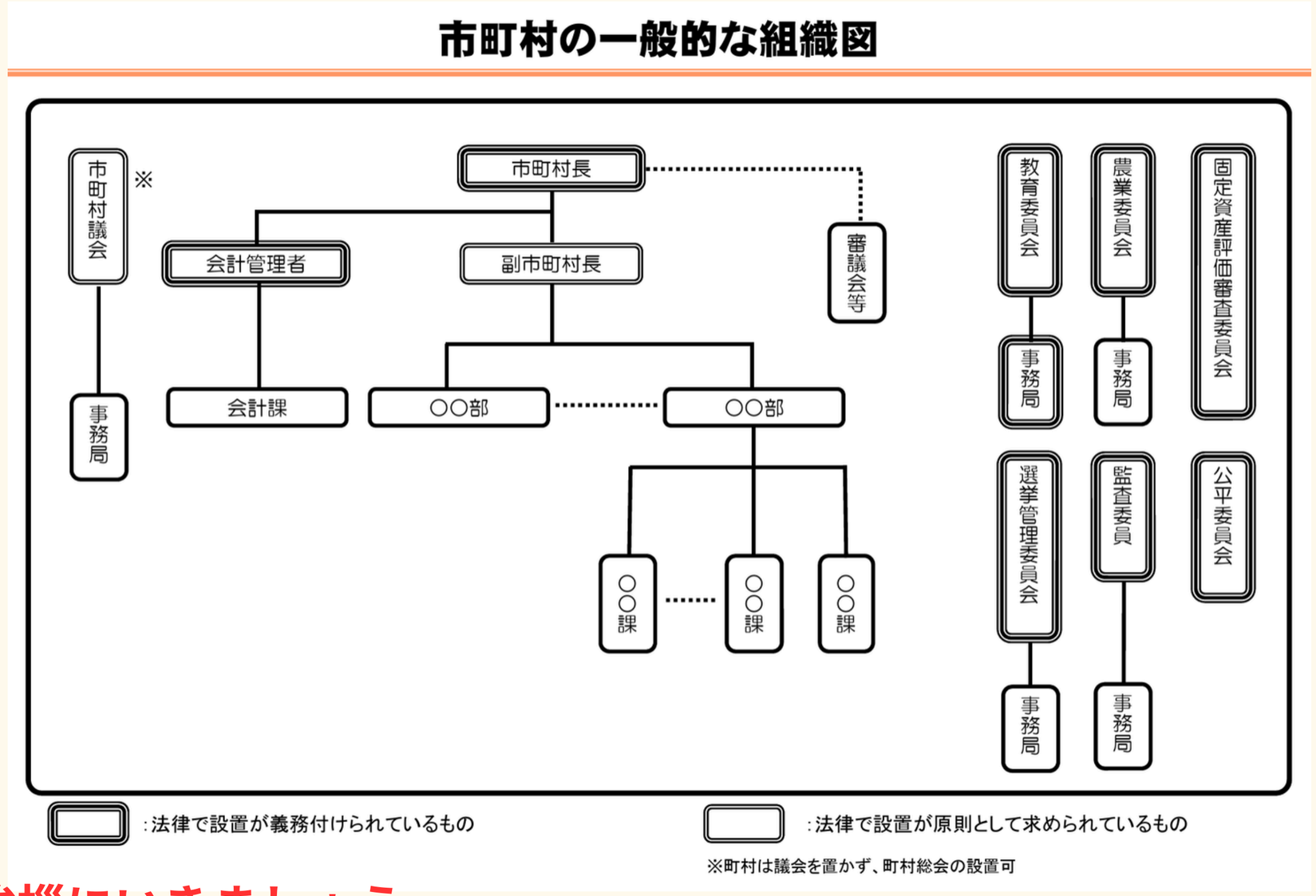
人事異動：2-3年に一度
（多角的な視点をもつため）

さまざまな部署の例

- 総務部・企画部
- 財務部・財政部
- 福祉部・健康福祉部
- こども家庭部
- 環境経済部
- 都市建設部・土木部
- 防災・危機管理部
- 教育委員会

どの部署も気候対策は重要

引き継ぎが一段落したころ、挨拶にいきましょう。



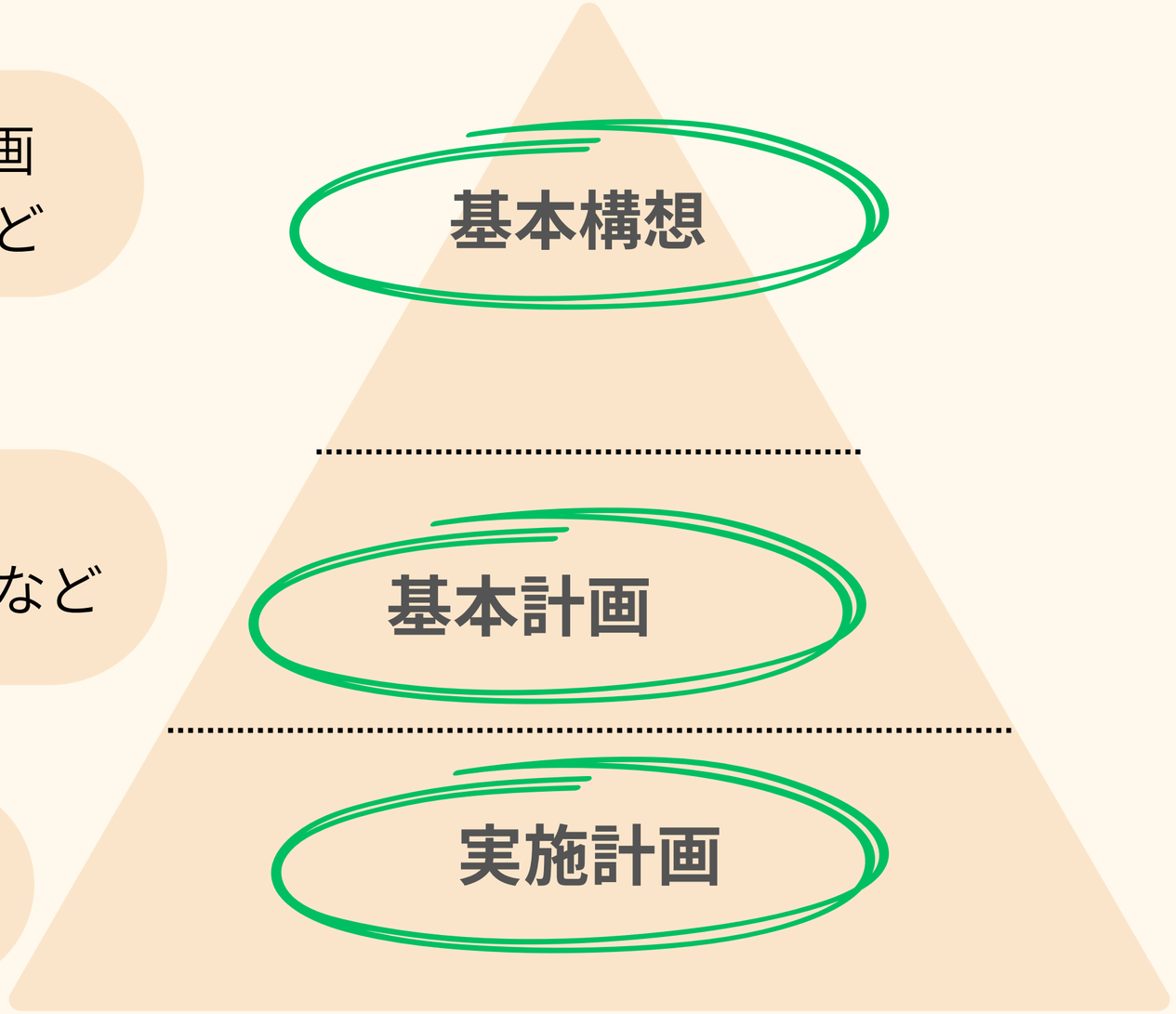
右図：総務省資料より

どこの部署でも計画に基づいて業務が行われる
計画の見直し・改定サイクルもしっておこう

その自治体の最上位の10年程度の長期計画
名称は「総合計画」「マスタープラン」など

分野ごとの5～10年の指針。
名称は「環境基本計画」「温暖化対策計画」など

具体的な事業リスト。名称は「○○アクションプラン」「○○事業計画」など。



計画改定のプロセス（実例）
長野県ゼロカーボン戦略より

たとえば、長野県のゼロカーボン戦略策定は、2019年の5月28日に環境審議会が開かれ、決定は2021年の6月8日。2年間。最終案の前に、**パブリックコメント**という市民の意見を聞く機会がある。通称はパブコメ。重要だが、**パブコメの段階より早く意見を届けることも重要**。

年月日	会議	内容
令和元年（2019年） 5月28日	令和元年度第1回 環境審議会	・次期「長野県環境エネルギー戦略」策定の諮問
8月23日	第1回 地球温暖化対策専門委員会	・現行計画の取組状況の報告
令和2年（2020年） 3月27日	第2回 地球温暖化対策専門委員会	・次期計画の策定方針案の審議
7月13日	第3回 地球温暖化対策専門委員会	・数値目標及び施策等の審議
9月18日	令和2年度第2回 環境審議会	・専門委員会からの中間報告
11月17日	令和2年度第3回 環境審議会	・「長野県ゼロカーボン戦略」策定の再諮問
11月27日	第1回ゼロカーボン戦略 推進本部会議	・ゼロカーボン戦略推進本部会議及び作業部会の設置
12月22日	第4回 地球温暖化対策専門委員会	・ゼロカーボン実現に向けた施策の方向性審議
令和3年（2021年） 2月5日	第2回ゼロカーボン戦略 推進本部会議	・作業部会の中間取りまとめの報告
3月15日	第5回 地球温暖化対策専門委員会	・パブリックコメント案の審議
3月22日	令和2年度第5回 環境審議会	・専門委員会からの中間報告
5月17日	第6回 地球温暖化対策専門委員会	・答申案の審議
6月1日	令和3年度第1回 環境審議会	・専門委員会からの最終報告 ・答申案の審議、承認
6月1日	知事への答申	
6月8日	第3回ゼロカーボン戦略 推進本部会議	・ゼロカーボン戦略案の検討、決定

議会のスケジュール（例）

議会は 3・6・9・12月が標準的（2週間〜1か月ほど）　臨時会も開かれる　（通年開催の自治体も）

3月議会 (第1定例会)	予算議会　4月からの1年間の予算の審議・決定
6月議会 (第2定例会)	新年度が始まって最初の議会　国の方針に伴う条例改正など
9月議会 (第3定例会)	決算議会　前年度に「お金が正しく使われたか」をチェック。
12月議会 (第4定例会)	年内最後の議会。冬の補正予算や、翌年度に向けた議論 補正予算はどの議会でも議論されうるが12月は全庁的に取り組まれる場合が多い

予算編成のスケジュール（例）

4月	新年度の事業開始
6-8月	会派（議員のグループ）が団体などから予算要望ヒアリング, 行政が、市区町村などからの予算・事業の要望を聞く
8-11月	予算編成方針→予算見積もり書（予算要求→財政課長などヒアリング
12-1月	財政課長、部長副首長・首長査定
2-3月	予算案の議会審議→議決

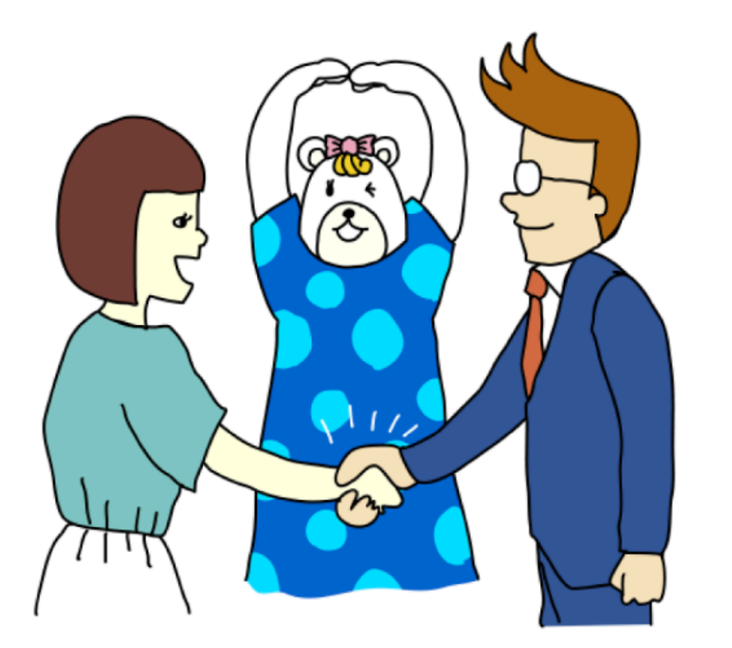
2. タイミングに合わせたコミュニケーション

4〜5月：

行政の担当者に「顔合わせ」に行く
新しい担当者に「私たちはこういうビジョンで活動しています」と自己紹介。
思いを伝えて、目線合わせを。

これまで話していた担当者が変わっても、「議論の積み重ね」
これまでの経緯を資料化したり、お話しするなどして共有。

議員さんの情報もアップデイトを
議員も所属委員会が変わるので、
新しい情報を議会のウェブサイトで確認を。



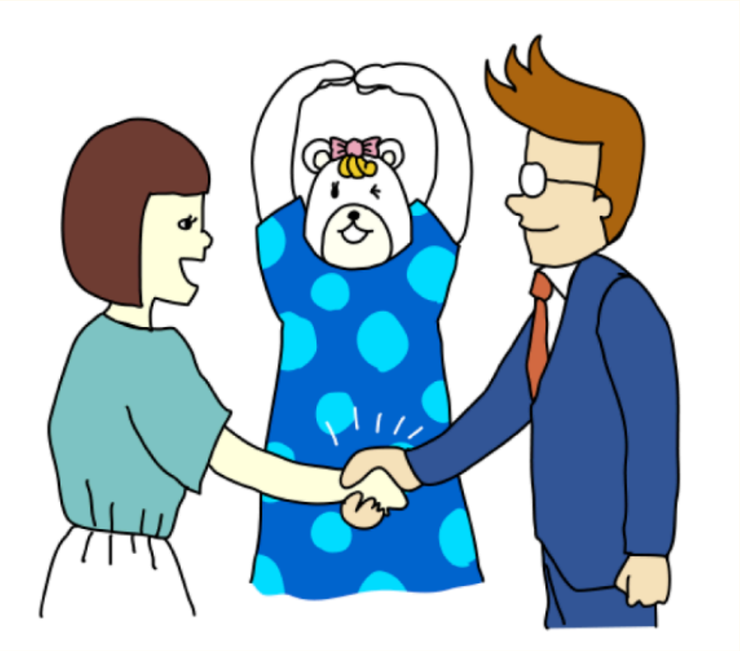
タイミングに合わせたコミュニケーション

6～8月：

議員や会派に向けて、翌年の「予算要望」をしよう
各会派は夏から秋にかけて、行政に提出する翌年度の重点要望をまとめる。
そこに入るようなスケジュールで。

行政にも、「予算要望」を渡しに行こう
各部署が「来年何をしたいか」を検討する時期なので
担当課へも要望を届けよう

請願・陳情、「勉強会」の企画もおすすめ
予算要望の内容に沿ってなぜ、
その施策が必要かがわかるように。

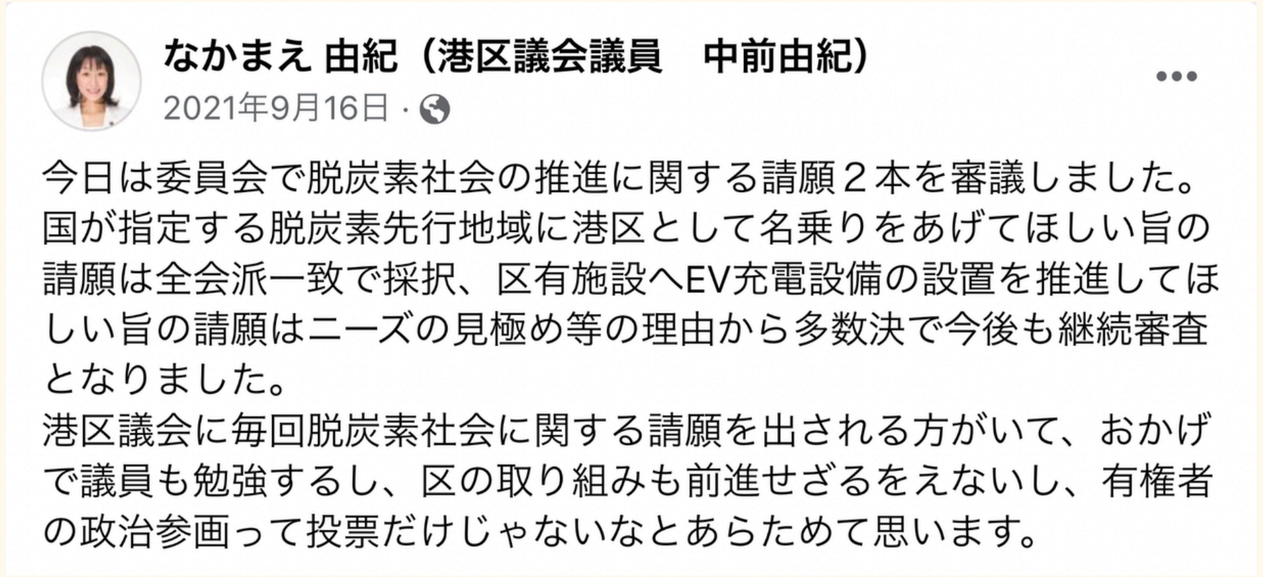


タイミングに合わせたコミュニケーション

請願・陳情の相談は、議会のないときに
定例会と定例会の間の期間（5月、8月、11月など）に請願・陳情の相談を

- **請願には、「紹介議員」が必要**
  - どうして、その要望なのかを説明して紹介議員になってくれないか相談
  - 議会が始まる1ヶ月以上前が目安（早ければ早いほどいろいろ相談できる）
  - 採択されても、その後、どうなっていますか、
    というコミュニケーションが大事

- **議会事務局へ**、提出締め切りや、
  提出の方法の確認を

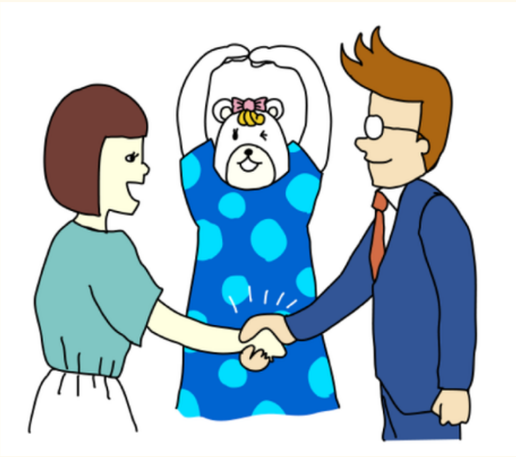


タイミングに合わせたコミュニケーション

9～12月：

パブコメがないか、チェックしよう
12月は、翌年4月から始まる計画などのパブリックコメントが多い時期。

「意見書」を提案する請願・陳情もおすすめ
「意見書」：自治体議会から国（国会・内閣など）に提出する公式文書
　　（地方自治法第99条に基づく権利）
国レベルの「法律改正」や「予算確保」を直接要望
全国から同じ趣旨が集まると、国も無視できない大きな力に
事例：気候非常事態宣言
2019年：長崎県壱岐市を皮切りに、多くの自治体が独自に宣言
並行して「国も宣言を出すべき」という意見書が多数国に提出された
2020年11月：衆参両院の本会議で「気候非常事態宣言決議」が採択



タイミングに合わせたコミュニケーション

パブリックコメントは1年中あり--自治体のウェブサイトを定期的にチェック

冬は「パブリックコメント」のピーク
翌年4月スタートの計画案は、冬ころ、集中して募集される

パブコメの探し方
・自治体のウェブサイトの検索窓に「パブリックコメント」「意見公募」と入力
実施中のものだけでなく、実施予定のリストがある自治体も。
・広報誌をチェック
月に1～2回発行される自治体の広報紙に告知が掲載される。

＊見つけたらゼロエミッションを実現する会に知らせてください。
参加者さんにお知らせします。
＊ただし、**パブコメがおこなわれるよりも前の段階で提案をするのが重要**

職員さんや議員さんへの声の届け方

届けたいのはどんなこと？誰に届けるのがよいか？などは状況によります。
ゼロエミの会では、**お話しをお伺いして、状況をみて、いっしょに考えています。**

個別相談制度をご利用ください。

勉強会の**Q and Aや、終了後の時間**もご利用ください。

ゼロエミッションを実現する会

市民参画で気候対策が進んだ事例

2024年　東京都港区　大部分の施設で再エネ100%電力導入
2020年からのゼロエミ港が脱炭素関連の請願を提出。
2021年の環境基本計画に「再エネ100%電力導入」が掲げられ、
2024年までに大部分の施設で再エネ電力導入された。

2021年　長野県　温室効果ガス削減目標引き上げ
「60%以上に」と**パブコメ**提出と知事へのメールを呼びかけ。
最終的に削減目標が60%に。「パブコメで背中押された」阿部県知事

2023年　国立市　温室効果ガス削減目標引き上げ
環境審議会の委員に応募、仲間と相談、市民の要望をみえる化。
専門家とともに提言。継続して行政と対話

ゼロエミッションを実現する会

まとめ

- 4月の新体制、夏の予算検討、冬の計画決定。
  - サイクルを知って、最適なタイミングで声を届けよう

- 4月の人事異動、議会の役職交代。新しい担当者との「目線合わせ」を

- 総合計画、環境基本計画や地球温暖化対策計画の改定時期を知って、早めに「市民からの提案」を伝えよう

- 議会の合間にじっくり「陳情」や「請願」などの「相談」を

- 誰に何をいつ言えばいいか迷ったら、いつでもゼロエミに相談

（スラックにメッセージいただくか、個別相談をご利用ください）

ゼロエミッションを実現する会

いま、すぐにできること

「自治体名・議会」で議会のウェブサイトへ行き
「議会日程」をみてみてください。
年に何回なのか、どれくらい続くのか、
どんな順番で何をするのかがわかります。
それだけでも議会への解像度があがりますよ。

次回は、自治体の予算について学びます